

TIC NEWS

vol. **87**
2008.4

(財)とやま国際センター
〒930-0856 富山市牛島新町5-5
インテックビル4F(タワー111)
TEL (076) 444-2500
FAX (076) 444-2600
E-mail: tic@tic-toyama.or.jp
URL: http://www.tic-toyama.or.jp



ロシア人向け「日本語・日本文化」講座の様子

春から学ぼう！TICの講座

平成20年度も盛りだくさんの内容でお届けするTICの講座。
新しい講座も加わりました！皆さんの参加をお待ちしております。
詳細は特集ページを……。

第13回富山県国際交流団体ネットワーク会議

日時：平成20年2月2日(日) 13:30~16:00

場所：環日本海交流会館

第1部 講演「新潟県中越沖地震における 被災外国人支援の実際」

講師 (財)柏崎地域国際化協会 事務局長 清水 由美子氏



富山県内で国際交流、国際協力、多文化共生事業を実施している団体を対象に、情報交換を目的にネットワーク会議を開催しました。今回は昨年7月に発生した新潟県中越沖地震の際に柏崎市に住む外国人住民支援の中心的な役割を担った柏崎地域国際化協会の清水事務局長から実際の支援の様子を話していただきました。

震災により清水氏の自宅も全壊したため、避難所で生活しながら、外国人住民をサポートする多言語支援センターで活動をしたとのことでした。

外国人支援活動を振り返ると、平常時の日本語教室などの事業を通じた外国人住民とのつながりが、災害が発生した際に安否確認などで非常に役に立ったということを強調されていました。

また、コミュニティラジオ放送「FMぴっから」で、最新情報を多言語で毎日提供し、緊急時にラジオが果たす役割を紹介されました。この中で、英語や中国語に加えて、「やさしい日本語」での情報提供が外国人住民にも日本人のお年寄りにも評判がよかったとのことでした。

現在、清水氏は仮設住宅から国際化協会の仕事に従事されています。

第2部 情報交換

各国際交流団体が抱える悩みや問題を全体で共有し解決に向けてのアイデアを探るための情報交換会を行いました。引き続き清水氏から外国人住民が参加しやすい交流イベント作りなどの的確なアドバイスをいただきました。



(財)とやま国際センター(TIC)からのお知らせ

平成8年2月にインテックビル4階に開所した「富山県国際交流センター」は平成20年3月末をもって閉所しました。(財)とやま国際センターでは、今後ともできる限りの富山県国際交流センターの機能・サービス(図書、ビデオ、インターネットサービス、交流物品の展示等)を継続したいと考えています。これからも皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



国際交流員より離任のご挨拶

こう かんくん 高 冠軍さん (中国)

最初に日本の土を踏んだとき、好奇心と不安でいっぱいでした。今この美しい街を離れると思うと懐かしさと恋しさが溢れてきます。

楽しい1年、豊かな1年、忘れられない1年初めて富山に来たとき、皆さまから温かい歓迎を受け、新しい国際交流員が来たという記事が新聞にも載りました。その新聞は今でも大切に持っています。

毎週月曜の夜の中国語講座。こんなにたくさん日本人が来るとは思いませんでした。皆さんが中国に興味を持ち、中国の文化を愛していることが分かりました。

出前講座を通じて、日本の児童・生徒の生活も分かりました。児童が校門まで見送ってくれて、すごく感動しました。

日本人だけではなく、様々な国からの同僚と働くことができたのも嬉しい経験でした。

雄大な立山、圧倒的な雪の壁、鮮やかな紅葉、壮観な称名滝。最も忘れられないのは親切で善良な日本人です。仕事の面でも、生活の面でも、手助けしてくれる同僚達。観光地へ行った時、私が中国人と知って無料で案内してくれたガイドさん。始めて東京へ行って道に迷った時、電話をかけたり、地図を書いたりして結局ホテルまで見送ってくれた知らない日本人。今でもこの事ははっきりと覚えています。

日本に来た時、挨拶で日中友好の架け橋になりたいと言いましたが、それはただの挨拶ではなく私の本音でした。帰国してから、自分が見た日本、自分が会った日本人、自分が知った日本文化を周りの人々に伝えようと思います。富山県と遼寧省をはじめ、日中友好の促進にいささかなりとも貢献することができれば嬉しく思います。



ひょう そばい 憑 素梅さん (中国)

去年、桜吹雪の時期に富山に来て、今2008年の桜が咲く前にこの文章を書いています。中国上海の初代の国際交流員として富山県庁に派遣された私の1年の任期は終止符を打ちます。1年とは人生の80分の1に過ぎないかもしれませんが、富山での1年は私にとって多分一生の大切な思い出になるでしょう。

日本のことを長年勉強してきましたが、富山での1年は日本での初めての暮らすことになった1年でした。最初は不安だらけでしたが、1年間のいろんな仕事を通して、公務員、企業の経営者、高校生、在住中国人、主婦、他の国の交流員など様々な富山県民と知り合い、彼らの優しさや情熱を感じるにつけ、最初の不安な気持ちはなくなりました。富山を離れる今となっては、離れがたく、寂しいという気持ちがいっぱいです。春の松川沿いの満開の桜と、渓谷をさらさらと流れゆく澄みきった雪溶け水、夏の青々とした田畑とヒスイ色の湖水、秋の青空と黄金色の銀杏、冬の純白の山々とライトアップされた幻のような五箇山合掌集落、年中静かできれいな街…すべて心の奥底に刻まれています。

富山県は日中友好に一生を捧げた志士である松村謙三先生の故郷です。この1年で富山県各市町村の日中友好協会の様々なイベントに参加し、富山の県民がいかに日中友好のために努力、実践しているのを自分の目で確かめ、つくづく感心させられました。両国の草の根の交流を通じて、人と人が相互理解し友達になって、初めて国と国は友好な関係が築けるようになるのです。私にできるのは、上海に帰ってから学生に、真の日本、真の富山を伝えることではないでしょうか。滞在中にお世話になった多くの方々に感謝しています。



“BOUSAI RADIO” 第12回防災まちづくり大賞消防庁長官賞受賞

昨年3月に能登半島沖地震、そして7月には新潟県中越沖地震が発生し、「災害は忘れる前にやって来る」と言われるほど、最近日本で多くの自然災害が発生しています。

このような折、とやま国際センターで富山県からの補助事業として実施しているFMラジオ多言語防災・生活情報番組「BOUSAI RADIO」が平成20年1月29日第12回防災まちづくり大賞において消防庁長官賞を受賞しました。

「BOUSAI RADIO」は毎週日曜日午後8時からFMとやまで10分間、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語で毎週1言語ずつ放送しています。



知ろう!学ぼう!楽しもう! とやま国際センターの講座

国際交流、国際協力、多文化共生に向け、様々な事業展開をしている(財)とやま国際センター。平成20年度もたくさんの皆さんの参加をお待ちしております。ご紹介いたします!



日本海学事業講座

日本海学とは……?

環日本海地域と日本海をひとつの循環・共生体系としてとらえ、長い歴史の中で繰り返されてきた循環と共生のシステムに学び、人間と自然のかかわり、地域間の人間と人間とのかかわりを総合学として研究するものです。

日本海学研究グループ支援事業研究成果発表会

5月10日(土) 9:30~17:30 県民会館705, 706号室

定員: 40名

参加費: 無料

日本海学に関する研究・普及活動に対し、2007年度に助成を受けた13グループによる合同成果発表会です。

【日本海学講座】

野外特別講座 “越中宮崎日帰り学びの旅”

5月31日(土) 9:00~17:00 朝日町宮崎地区

定員: 20名

参加費: 実費(食事代等)

鹿嶋神社、上の山園地、宮崎城跡、ヒスイ海岸等を散策します。

通常講座 “歴史探訪・新湊の北前船文化遺産—大楽寺の宝物を通して—”

7月5日(土) 14:00~16:00 射水市浄土宗大楽寺

定員: 60名

参加費: 無料

その他、日本海学シンポジウム、大学連携事業なども開催予定です!

【お申込み・お問い合わせ】

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

日本海学推進機構

(富山県国際・日本海政策課日本海学班内)

TEL 076-444-3339(直通)

FAX 076-444-8694

E-mail adm@nihonkaigaku.org

URL <http://www.nihonkaigaku.org/>



日本語・日本語ボラ

生活支援日本語ボランティア

【黒部会場】

前期6回 5月17日(土)~6月

後期6回 10月~3月 毎月

黒部市国際文化センターコラ

定員: 15名

参加費: 3,000円

【富山会場】

6月3日(火)~8月5日(火)

環日本海交流会館 大会議室

定員: 20名

参加費: 3,000円

日本語教室 in 黒部

7月6日(日)~3月8日(日)

黒部市国際文化センターコラ

参加費: 1回300円

外国語・外国文化を

平成20年度の各国語講座

講座名	開
中国語(入門)	5/30
中国語(初級)	5/26
中国語(中級)	5/28
韓国語(入門)	5/27
韓国語(初級)	5/29
韓国語(中級)	5/28
ロシア語(初級)	5/30
ポルトガル語(中級)	5/26

日 時: 上記の期間の18:30~

場 所: (財)とやま国際センタ

受講料: 10,000円

申込方法: 住所、氏名、年齢、

電話でお申し込みください。(宛

*この講座は県民カレッジ連携

【お申込み・お問い合わせ】

〒930-0856 富山市牛島新町5-

インテックビル4F

(財)とやま国際センター

TEL 076-444-2500

FAX 076-444-2600

E-mail gogaku@tic-toyama.org

URL <http://www.tic-toyama.org/>

ンティア養成講座、多文化共生講座

養成講座

月21日(土) 毎週土曜日 10:00~12:00

1回

ーレ(創作室)

毎週火曜日 15:00~17:00 前期10回

毎週日曜日 10:00~11:30

ーレ(創作室)

ロシア人向け「日本語・日本文化」講座

毎月第2・第4金曜日 15:00~16:30

(財)とやま国際センター研修室

参加費:無料



多文化共生サポーター養成講座

外国籍児童生徒の課外活動を支援する

多文化共生サポーター育成のための研

修会を実施します。

多文化共生コーディネーター養成講座

関係機関と多文化共生サポーター、外国人住民をコーディネートできる人材を

育成するための研修会を実施します。

射水カルチャー・マラソン

射水市内に住む外国人住民を講師として、出身国の言語や文化などを紹介する

講習会を開催します。

を学ぶ講座

開催期間	曜日	対象	定員
~3/13	金	初心者	40名
~3/16	月	1年程度学習された方	40名
~3/18	水	2年程度学習された方	15名
~3/17	火	初心者	40名
~3/19	木	ハングルが読める方	40名
~3/18	水	2年程度学習された方	40名
~3/13	金	1年程度学習された方	15名
~3/16	月	基礎を学習された方	15名

20:00

一研修室

電話番号を明記の上、ハガキ、FAX、E-mail、

定員になり次第、締め切らせていただきます)

講座です。

5
皆

jp
jp



イングリッシュ・チャット

毎月第1,3水曜日 19:00~20:30

(財)とやま国際センターラウンジ

*予約、参加費は不要。

ネイティブの皆さんと、文化や習慣など様々なことについて英語でおしゃべり
しませんか?

イングリッシュ・アドベンチャー

5月19日~7月7日 毎週月曜日 17:00~18:30

(財)とやま国際センター研修室

定員:20名 *要申込、参加費は不要。

高校生対象の講座。ゲーム等を通して楽しく英語や英語圏の文化を学ぶ講座です。

夏休み子ども英語塾

小学生を対象に遊びを交えながら楽しく英語に親しむ講座を行う。

夏休み 計4回程度

~平成20年度新規開催講座~

国際交流員による多文化交流会“お茶っとルーム”

国際交流員、県民、外国籍住民が各国のお茶などを飲みながら気軽に外国や日
本の文化を学びあいます。

ビートルズで英語を勉強しよう

ビートルズ等の名曲を教材に日常生活ですぐに役立つ英会話、英語圏の文化を
学びます。

英語教育セミナー

子供をもつ親などを対象に、小学生の子供への英語指導方法について学習します。

*詳しくはホームページ等に掲載予定です。

市町村職員国際協力・交流実務者研修

日時：平成20年1月30日(水)

場所：富山県国際交流センター 研修室A

昨年7月に行われた担当課長会議に続き、富山県内の国際協力・交流、多文化共生の職務についている実務者を対象に、岐阜県美濃加茂市経営企画部長の宮口 誠氏を迎えて「市町村と多文化共生」というテーマで講演をしていただきました。

宮口氏には美濃加茂市の外国人の割合や国籍別人口の推移、在住ブラジル人の居住年数等の多種データとともに、美濃加茂市が外国人児童教育などの多文化共生にどのように取り組んでいるかについて話していただきました。

その後行われた意見交換会では、富山県が多文化共生社会へ向けての今後の取り組みについて、活発な質疑応答が行われました。



JICAボランティア元隊員からの現地レポート

今回はカメルーンから届いた青年海外協力隊 手崎 雅代さんからのお便りをご紹介します。



個人的に空手を教えている手崎さん

手崎 雅代さん

派遣国：カメルーン共和国

職種：PCインストラクター

派遣期間：平成18年10月～20年10月

配属先：中等教育省エデア工業技術中高校

現在私は、カメルーンのエデア市で情報処理の先生として活動しています。生徒に授業をするだけでなく、学校の先生にもパソコン教室を開いています。

1年間活動をして、カメルーン人のいろいろな面が見えてきました。カメルーン人みんなに共通して言えるのが、「自分に自信をもっている」ということです。自分に自信のないカメルーン人に、私はまだ出会ったことがありません！例えば、授業において「〇〇の機能について知っていますか？」という質問をしたとします。すると、先生にせよ生徒にせよ、ほぼ全員が「知っている」もしくは「できる！」と言い張ります。そして、実際にやってみようと、やっぱり出来ません。その時の言い訳がまた面白い。「知っていたけれども忘れていただけ」とか「このパソコンが壊れている！」と機械のせいにしてたりします。また別の例で、運動神経のいい生徒に「すごいね、運動神経がいいんだね」と褒めると、「僕は運動だけじゃなく勉強も何でもできるんだ」と返ってきます。日

本人だときっと「そんなことないよ」と返す気がしますが……。でも、こんな風に、自分は何でもできるんだ！と自分に自信を持つことは、いいことだと私は思います。何でもできると思っていたほうが、本当に出来るようになるのも早い。私もカメルーン人のこういうところを見習っていこうと思います。ただ、日本に帰ったら、少々凶々しい人と思われるかもしれませんが……。とにかく残りの1年、楽しく過ごして、元気に日本に帰りしたいと思います。



安 羅始さん((株)CLUB RICH TOUR主任)

A. 今は富山の(株)ニュージャパントラベルで研修した経験を生かして、旅行会社で働いています。日本観光に興味のあるお客さんに、いろいろな情報提供をしています。個人旅行の担当なので、実際お客さんをつれて日本に行くことはほとんどありませんが、時々ホテルや新しいルートを探すために日本に行くことはあります。まだ個人旅行は東京、大阪、福岡、札幌などの大都市に限定されており、富山の良い所がまだ知られていないので残念です。



Q. 韓国の状況について教えてください。

A. いよいよ大統領が5年ぶりに変わりました。日本とは違って、大統領の任期は5年で、再任はありません。第17代の大統領は李明博(リミョンバク)です。是非国民が笑いながら暮らせる国になるように祈っています。もう1つ、大韓民国の国宝1号の南大門(正式名:崇禮門)が火災に見舞われ跡形もなく焼けてしまいました。ソウルを600年間守ってくれた崇禮門が二度と見られなくなり寂しいです。再建しても、元の精神や魂はもう失われてしまった気がして寂しいです。



復元された清溪川 ソウルの新しい顔

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 2003年に研修のために富山に滞在しました。正直、来る前は富山っていうところはただの田舎だと思っていました。でも、6ヶ月間暮らしながら、いい人々に会って、いろいろな美味しいものを食べて、いい空気を吸いながら健康になりました。(そのおかげで3キロも太りましたが…) まだその時知り合った皆さんとも連絡していますし、このまま縁がずっと続いていくことを望んでいます。

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. お久しぶりです！もうあの時から何年も経ったのに、まだ富山での思い出は昨日のことみたいに生々しく残っています。研修時にお世話になった皆さん、そして韓国を好きになってくれた皆さんに感謝します。複雑なソウルの生活で疲れた時にはいつも富山が懐かしくなります。また富山に行くまで、待っていてください！そして、ソウルにも遊びに来てください。

こんな“国際交流”やっています！

～“ワイワイにほんご・たいこうやま” 太閤山日本語グループ(射水市)～

～TICから助成した事業をご紹介します～

“ワイワイにほんご・たいこうやま”では多文化共生社会の風を受けて、外国籍地域住民と地域ボランティアが日本語支援を中心にした新しい交流活動を行っています。

月3回～4回(毎月第一土曜日は休み)、射水市南太閤山公民館で夜7:00～8:30まで大人2クラス(入門・中級クラス)子ども学習支援クラス、保育の4つのクラスが必要に応じ連携しながら相互学習型の日本語支援を行っています。この一年間の活動状況はHP(<http://waiwai.takara-bune.net/>)に活動記録として掲載されていますので、是非ご覧ください。

活動を通して、日本人サポーターと外国人参加者の間には温かで確かな信頼感が醸成され、毎回アットホームな中、楽しい日本語学習が展開されています。

ここでは、易しく分かりやすく話す日本人サポーターの支援の下、外国人参加者は安心して日本語を話しながら日本語の語彙・表現、また日本の文化や習慣の理解を広げています。

地域の隣人として互いに学びながら、共に住みやすい地域であり続けることを願っています。



ピケ・ア・ロ・マチョ・ボリビアーン

ピケ・ア・ロ・マチョは典型的なボリビア料理でよくお昼時に食べられます。少量で出されるものは“ピケ”と呼ばれ、ピケ・マチョはボリュームいっぱいになり盛り付けられたものごとをいいます。土地の言い伝えによると、この量を1人でたらいらげることができるならマチョ(男)であるというところから、この名前の料理が誕生したそうです。



～作り方～

1. ゆで卵を作り、4つ割り、または輪切りにする。
2. たまねぎとピーマンは5mm程度の細切りに。
3. 牛肉は細切りまたは一口大に、ソーセージはお好みの大きさに切る。
4. 切ったにんにくをフライパンで炒めて肉を入れ、たまねぎと塩、とクミンを入れて炒めたら、ピーマンとソーセージ、ロコト、しょうゆを入れて炒め、最後にビールを入れて煮る。
5. ジャガイモは切ってフライドポテトにする。
6. お皿にレタスをのせて、その上にフライドポテトを盛り4を盛り付ける。
7. 飾りに卵とトマト、オリーブをのせて出来上がり～！



*ロコトはアンデス地方で栽培される極めて辛い唐辛子。赤唐辛子で代用しても可。辛いのが苦手な人はロコトの代わりに切ったトマトを入れても煮込んでもOK。

～材料(4人分)～

じゃがいも	8個
牛肉	500g
ソーセージ	10本
ロコト	4個
卵	4個
オリーブ	10個
ビール	コップ1杯
たまねぎ	2個
ピーマン	2個
トマト	4個
レタスの葉	4枚
にんにく	1かけ
【調味料】	
塩	適量
クミン	適量
しょうゆ	適量

TICからのお知らせ

これからの行事予定

JICAボランティア平成20年度春募集

応募期間：平成20年4月8日(火)
～平成20年5月23日(金)

【募集説明会：青年海外協力隊】

- ① 4月12日(土) 14:00～16:00
サンシップとやま704号室
- ② 4月20日(日) 14:00～16:00
サンシップとやま704号室
- ③ 4月30日(水) 18:30～20:30
CiCビル3

【募集説明会：シニア海外ボランティア】

- ① 4月12日(土) 10:30～12:30
サンシップとやま704号室
- ② 4月20日(日) 10:30～12:30
サンシップとやま704号室

ブラジル一日総領事館、

日本ブラジル移民100周年記念パネル事業

6月29日(日) 9:00～(予定)
高岡市ふれあい福祉センター

“簡単な外国語会話集”、“海外事業所調査”

TICでは、地域住民と外国人の身近な交流を促進するウルドゥ語、ベンガル語、ロシア語の会話集を発行しました。

また県内78社290事業所の事業概要をまとめた「富山県企業の海外事業所調査」平成20年版を発行しました。
(1冊1,000円)



(財)とやま国際センター賛助会員募集中！

国際交流・協力事業にご支援いただけるようお願いします。
年会費(1口) 個人会員 3,000円
 団体会員 30,000円
*賛助会費に対しては税法上の優遇措置があります。

国旗、民族衣装貸し出します！

新しい民族衣装も入りました！
詳細はホームページでご覧下さい…
<http://www.tic-toyama.or.jp/>



TICからの助成のご案内

県内で国際交流・協力活動および多文化共生活動を実施している民間の非営利団体・グループで県内に事務所、または活動拠点を有する団体等が主催する事業に対し助成します。

平成20年度実施事業(20年4月～21年3月)の募集期間は **3月3日(月)～4月30日(水)**